

製品名: SLC6A14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17961**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC6A14
別名	SLC6A14; Sodium- and chloride-dependent neutral and basic amino acid transporter B(0+; Amino acid transporter ATB0+; Solute carrier family 6 member 14
遺伝子 ID	11254.0
SwissProt ID	Q9UN76
免疫原	ヒト SLC6A14 の C 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

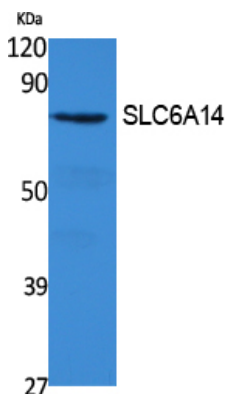
この遺伝子は、溶質輸送体ファミリー 6 のメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、ナトリウムおよび塩素依存

性の神経伝達物質トランスポーターです。コードされているタンパク質は、中性アミノ酸と陽イオン性アミノ酸の両方を輸送します。このタンパク質は、 β -アラニン輸送体としても機能する可能性があります。この遺伝子の変異は、X連鎖性肥満と関連している可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は、X染色体上に存在します。[RefSeq 提供、2010年5月],疾患: SLC6A14 の遺伝的変異は、X連鎖性肥満 (OBX) の感受性と関連している可能性があります[MIM:300306]。肥満は、2型糖尿病、冠動脈疾患、高血圧、変形性関節症、特定の癌などの疾患の素因となることが示されています。一般的な肥満は、複数の遺伝的要因と環境的要因、そしてそれらの相互作用によって引き起こされる可能性が高い。機能: Na(+)/Cl(-)依存的に、プロリンを除く幅広い中性アミノ酸および陽イオン性アミノ酸の取り込みを媒介する。、その他: BCH (2-アミノピシクロ-[2.2.1]-ヘプタン-2-カルボン酸) によって輸送が阻害される。、類似性: ナトリウム-神経伝達物質共輸送体 (SNF) ファミリーに属する。、組織特異性: 成人および胎児の肺、気管、唾液腺で最も高い濃度を示す。乳腺、胃、下垂体ではより低い濃度が検出され、結腸、子宮、前立腺、精巣では非常に低い濃度を示す。、

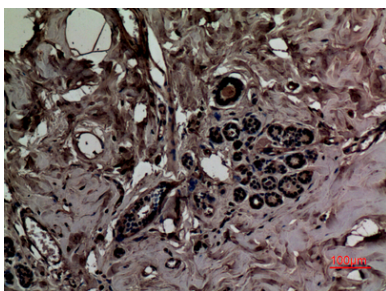
研究分野

細胞膜; チャネル; シグナル伝達; 抗体; 新製品 組み換え

画像データ



SLC6A14 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト乳房の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された